

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2006-324650(P2006-324650A)

【公開日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-047

【出願番号】特願2006-113439(P2006-113439)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/22 C

H 0 5 B 33/22 A

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】発光素子

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の電極間に、発光層と、混合層と、を有し、

前記混合層は、芳香族炭化水素と、モリブデン酸化物と、を含むことを特徴とする発光素子。

【請求項 2】

一対の電極間に、発光層と、前記電極の一方と接する混合層と、を有し、

前記混合層は、芳香族炭化水素と、金属酸化物と、を含むことを特徴とする発光素子。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、モリブデン酸化物であることを特徴とする発光素子。

【請求項 4】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、前記芳香族炭化水素に対し電子受容性を示す金属酸化物であることを特徴とする発光素子。

【請求項 5】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、バナジウム酸化物であることを特徴とする発光素子。

【請求項 6】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、ルテニウム酸化物であることを特徴とする発光素子。

【請求項 7】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、レニウム酸化物であることを特徴とする発光素子。

【請求項 8】

請求項 2 において、

前記金属酸化物は、チタン酸化物、クロム酸化物、ジルコニウム酸化物、ハフニウム酸化物、タンタル酸化物、タングステン酸化物、銀酸化物から選ばれたいずれか一であることを特徴とする発光素子。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか一項において、

前記芳香族炭化水素は、2-tert-ブチル-9,10-ジ(2-ナフチル)アントラセンであることを特徴とする発光素子。